

①行（空欄）

マザーグース(ボード、14 ポイント)

(1行空欄) (10.5 ポイント)

宮崎 太郎(ボード、12 ポイント)

①行（空欄）

キーワード： 3つ

①行（空欄）

1. はじめに(ボード、10.5 ポイント)

○←ここから始める (1 文字空欄) _____

_____。

①行（空欄）

2. 先行研究(ボード、10.5 ポイント)

3. 研究の目的(ボード、10.5 ポイント)

参考文献(ボード、10.5 ポイント)

A study on Mother Goose(ボード、Times New Roman, 14 ポイント)

(ボード、Times New Roman, 12 ポイント) **Taro Miyazaki**

①行空欄

The purposes of this research are to ~ . (Times New Roman, 11 ポイント)

.....

①行 (空欄)

Key words: Mother Goose, Reading, Picture Book (Times New Roman, 11 ポイント)

備考：

参考（引用）文献の書き方の例としては、Publication Manual of the American Psychological Association (American Psychological Association, 2020, 7th edition) (APA) あるいは、MLA Handbook (Modern Language Association of America, 2021, 9th edition) (MLA) を参照して準拠すること、としましたが、APA や MLA の翻訳本は出版されていますので、日本語でも読むことができます。下記の翻訳本を参考にしてください。

- 1) ジョゼフ・ジバルディ（原田敬一監修、樋口昌幸訳編）（2005）. 『MLA 英語論文の手引き 第6版』：北星堂書店.
- 2) アメリカ心理学会(APA)（前田樹海・江藤裕之訳）（2023）. 『APA 論文作成マニュアル 第3版』医学書院.

・具体例（あくまでも1つの例であり、参考にしてください。下記の書き方がすべてではありません。MLA あるいは APA マニュアルを参照してください。）

外国語の文献の場合

(1) 学術雑誌の論文

Atkinson, D. (1999). TESOL and culture. *TESOL Quarterly*, 33 (4), 625-654.

Mackey, A. & Philip, J. (1998). Conversational interaction and second language development: Recasts, responses, and red herrings? *The Modern Language Journal*, 82 (3), 339-356.

<https://doi.org/10.2307/329960>

(2) 論文集（単行本）の中の論文

Harley, B., Howard, J., & Hart, D. (1998). Grammar in grade 2: An instructional experiment in primary French immersion. In S. Lapkin (Ed.), *French second language education in Canada* (pp.177-193). University of Toronto Press.

(3) 単行本

Littlewood, W. (1992). *Teaching oral communication: A methodological framework*. Blackwell.

日本語の文献の場合

(1) 学術雑誌の論文

横田秀樹・林敬泰・早瀬光秋 (2000). 「インターネット英語教材データベース」『中部地区英語教育学会紀要』No.30, 273-280.

池野修 (2020). 「より良いティーム・ティーチングを実現するための教員研修」『四国

英語教育学会紀要』第 40 号, 31-44. https://doi.org/10.32276/seles.40.0_31

(2) 論文集（単行本）の中の論文

中山兼芳・金森強 (2001). 「英語学習における国際理解」樋口忠彦・行廣泰三（編）『小
学校の英語教育－地球市民育成のために－』（pp.41-58）KTC 中央出版.

(3) 単行本

松川禮子 (2004). 『明日の小学校英語教育を拓く』アプリコット.

なお、英語論文の引用文献に日本語の文献を含める場合は、次の通りとする。

Minoura, Y. (箕浦康子) (1991). 『子どもの異文化体験』思索社.